



ボランティア活動を考える

先週から、毎週火曜日の朝のボランティア活動がどの学年も活発になっています。朝から学校に活気と爽やかな空気が流れ、嬉しく思った反面、その要因は何なのだろうか…と見てみると、高学年からの働きかけがあったからのようでした。

まず、JRC 委員会で、「できるだけ多くの人がボランティアをするようにするためにはどうしたらいいのか」と話し合いをしたそうです。そこで、「気持ちはあっても、何をしたらいいのか分からないのかもしれない」という意見が出て、各学年の清掃場所を放送することにしたそうです。例えば「4年生は、いこいの森の落ち葉拾いを……」と具体的にしたこと、参加してくれる人が増えたそうです。

また、ある高学年のクラスでは、「ボランティアに対するみんなの気持ちはどうなのか」「なぜ継続できないのか」を子供たち同士で話し合っていました。「学校をきれいになりたい」「下級生の手本になりたい」気持ちはある。では、どう行動するか…と意見を出し合っていました。子供たちが自ら、気



づき、考え、行動に移そうとしています。「課題」だと思ったことをそのままにせず、改善するために考え、行動する。こんな力がこれからの社会には、とても必要な力だと思います。こんな力をこれからも育ていける若葉小でありたいです。

9/27 (水) 学校保健委員会がありました

5, 6年生対象の学校保健委員会がありました。帯山中学校の教頭先生をしておられる田中慎一郎先生に來校いただき、「若葉小のみんなと考えたい 自分も友達も幸せになるインターネットの使い方」という題で講話をしていただきました。

田中先生自らが体験したインターネット上でのトラブルや失敗談も交えながらお話をしてくださいました。また、今まで出会った子供たちの「いじめの現実」や、1滴の水で溢れてしまった心の傷をどのように回復していくとよいかなど、色々な角度からの話がありました。

最後に「インターネットは便利なもので、頭から怖がるのではなく、正しく使っていくことが大切です。使い手の問題で凶器にもなるけれども、人を幸せにする道具でもあります。そこをちゃんと分かっていることが大切です。」というコメントがありました。5, 6年生は暑い体育館の中でしたが、真剣に聞き、感想交流や質問にも意欲的に取り組んでいました。若葉小も高学年の約7割近くがスマホを持っている現実があります。どんな使い方をして



保健委員会が発表している様子



田中慎一郎先生の講話の様子

いるのか、「自分も友達も幸せにするような」使い手になっているのか、今後なれるか。ご家庭でも話し合う機会を持っていただけるとありがたいです。